



入賞おめでとうございます

果実品評会入賞者

(開催日:令和8年1月21日)

ミカンの部	入賞者氏名	支部名	品種名
最優秀賞	松浦 明教	小松原	青島
優秀賞	越智 和博	大芝	大津四号
一等賞	渡辺 行峯	風早	青島
	古本 幸江	大芝	寿太郎
二等賞	谷口 富次	大芝	大津四号
	中村 繁俊	大芝	大津四号
	下本 友一	大芝	青島
三等賞	山平 忍	赤崎	大津四号
	山崎 勇三	大芝	青島
	甲斐 直樹	赤崎	青島

(開催日:令和8年6月19日)

ビワの部	入賞者氏名	支部名	品種名
最優秀賞	松浦 明教	小松原	田中
優秀賞	山崎 勇三	大芝	田中
一等賞	谷口 富次	大芝	福原
	松浦 善寿	小松原	田中
二等賞	金本 作枝	大芝	福原
	山中 斉昭	風早	田中
三等賞	渡辺 行峯	風早	田中
	古本 幸江	大芝	福原

(敬称略)

「今後も大苗育苗事業に取り組む」 芸南果樹研究同志会総会



芸南果樹研究同志会は7月30日、JA安芸津支店で第68回の通常総会を開催しました。生産者、広島県西部農業技術指導所、東広島市園芸センター、JA広島果実連(株)など28名が出席しました。ミカンとビワの品評会表彰式を行い、令和8年度活動計画など2議案を可決しました。

甲斐直樹会長は、「連年安定



▲甲斐会長



▲ミカン・ビワの部 最優秀賞の松浦明教さん

安浦支店起工式



呉市安浦町で7月6日、JA安浦支店の建て替えに伴い、起工式を行いました。JA役職員や施工業者ら約30人が参列し、工事の安全を祈願しました。新店舗は2027年2月下旬に完成し、3月23日にオープンする予定です。

新店舗はJR安浦駅に近く、利便性が向上。離れたいた経済店舗を併設し、総合店舗として運営を行っていきます。

田中義彦組合長は、「組合員・地域住民の皆様になくはならない総合店舗として、暮らしを支えていきたい」と力を込めました。



▲鍬入れの儀を行う田中組合長



▲完成図 ※イメージです



水 稲 9月

病害虫防除と刈取り時期について

カメムシ類・ウンカ類対策

①カメムシ類は収穫期近くまで加害します。穂そろい期を目安に防除し、その後も発見される場合は追加防除をしましょう。

②ウンカ類は収穫時期に発生が多くなり、



▲左から、写真1：アカスジカスミカメ(体長5～6mm) [提供：広島県農林水産局]
写真2：イネカメムシ(体長12～13mm) [提供：広島県西部農業技術指導所]
写真3：クモヘリカメムシ(体長15～17mm) [提供：広島県西部農業技術指導所]



▲「イネ縞葉枯病」を媒介するヒメトビウンカ ▲セジロウンカ ▲「坪枯(つぼが)れ」を引き起こすトビイロウンカ

提供：JA全農

坪枯れの原因になりますので、圃場の見回りをして早期防除しましょう。

(農薬の使用例)

△粉剤▽

- ・スタークル粉剤10a当り3kg(収穫7日前まで、使用回数3回以内)
- ・トレボン粉剤10a当り3～4kg(収穫7日前まで、使用回数3回以内)

△液剤▽

- ・スタークル顆粒水溶剤(2,000倍液)10a当り散布液量60～150ℓ(収穫7日前まで、使用回数3回以内)

△粒剤▽

- ・スタークル粒剤10a当り3kg(収穫7日前まで、使用回数3回以内)

△豆粒剤▽

- ・スタークル豆つぶ10a当り250～500g(収穫7日前まで、使用回数3回以内)

刈取りまでの作業と管理の目安

①落水時期：出穂後25～30日頃が目安となります。早く落水しすぎると粒張が悪くなるので注意しましょう。

②刈取り時期：刈取り適期はバインダーでは穂軸の先が1/3程度、黄色くなった時が基準になります。また、コンバインではそれより3～5日程度遅らせて刈取りをしましょう。

ただし、圃場の観察を行うと半分ほどしか熟していないなどの場合は、さらに遅らせて熟期を十分に確認してから刈取り作業に入りましょう。なお、ヒノヒカリは刈取りが遅れると茶米が発生するので、刈取りが遅れないように気をつけましょう。

籾水分が高い時(水分計で測定不能な場合)は送風乾燥と適正な乾燥温度で仕上げましょう。

水稲 問 安浦店

TEL 0823-84-2049

担当 桑原 伸明

野 菜 9月

馬鈴しょ

植え付けと病害虫防除と管理について

①そうか病の対策

種子消毒として、アタッキン水和剤(40倍液)に10秒浸漬しましょう。
または、ソイルサブリエクス(5倍液)を種イモにコーティングし、日陰で2～3日乾かし、定植しましょう。

植え付け前の圃場の準備には、予防としてフロンサイド粉剤10a当り30～40kgを施用しましょう。

②種イモの管理

種イモを切断する刃物を消毒するためにケミクロンG(10倍液)を使用しますが、熱湯による刃物の殺菌も可能です。(沸騰したお湯に刃物を4～5秒つけ、種イモを10個ほど切断したら、再度お湯につけましょう。)

植え付け時にはアブラムシ防除のため、アドマイヤーI粒剤10a当り4kg(使用回数1回)を植え溝に施用しましょう。

植え付けは昼間の暑い時間帯を避け、猛暑が続く場合は気温に注意して行いましょう。

③元肥の施用

馬鈴しょ有機特号・グリーンドクタ―2号のどちらかを10a当り110kg、または馬鈴化成888を10a当り130kg施用しましょう。

④病害虫防除例

発芽揃期：初期防除として、

(殺菌)ジマンダイセン500倍液(収穫7日前まで、使用回数10回以内)

(殺虫)モスピラン顆粒水溶剤(劇)2,000倍液(収穫7日前まで、使用回数3回以内)

初期防除から2週間前後を目安に、

(殺菌)プロポーズ顆粒水和剤1,000倍液(収穫7日前まで、使用回数3回以内)

(殺虫)ジェイエース水溶剤1,000倍液(収穫30日前まで、使用回数2回以内)

(トウムシ多発時)デアナSC3,000倍液(収穫前日まで、使用回数2回以内)を散布しましょう。

⑤中耕・土寄せ作業

初期生育を促進するために、発芽揃期に追肥として、馬鈴化成S30、または馬鈴化成888、またはグリーンドクタ―2号を10a当り60kg施用し中耕しましょう。その後の土寄せはイモの露出を少なくし、肥大を促進するため、重要な作業です。着雷期までには必ず行いましょう。

たまねぎ

①極端な早まきはトウ立ちの原因となるため播種時期を必ず守りましょう。

②早生種は9月7～10日頃、中～晩生種は9月20～25日頃播種します。

③播種前日に苗床に十分かん水し、種子には苗立枯病予防として、オーソサイド顆粒水和剤80を種子に粉衣(まぶ)

かんきつ

果樹

10月

地温が低くなり施用した肥料を樹体

野菜問 営農経済課

TEL 0846-4513360

担当 久保勝義

〈生産工程管理日誌は必ず提出しよう！〉
生産工程管理日誌は次期作の栽培計画に利用できるほか、事故から生産者・消費者を守る大事な記録です。農業使用は細心の注意を払い、正確な記入・提出をお願いします。

その他野菜

ニンジン・ダイコンなどの根菜類をはじめ、冬の作型が中心となるハクサイなどは、9月を中心に品種ごとに種まき時期が限定されています。まき遅れ、作型違いなどは生育不良の原因となるので種子袋などの暦をよく読み、適期を守って播種しましょう。

す)しましょう。播種は条間6cm程度の条播き、又はばら播きとし、厚播きにならないようにしましょう。軽く覆土・鎮圧し、さらにかん水した後、発芽まで不織布などで乾燥防止対策をしましょう。

④圃場の準備として、コガネムシ類・タネバエ対策

(殺虫)ダイアジノン粒剤5を1a当り400～600g(播種時又は定植時、使用回数2回以内)を土壌混和しましょう。

が吸えなくなる前に、早目に肥料を施用しましょう。特に今年豊作・不作を問わず、来年の樹勢回復のためにしっかりと肥料を施用しましょう。

1 仕上げ摘果と樹上選果の徹底

○極早生は、小玉果・軸太腰高で糖度の低い果実(裾なり・内なり)・傷果・日焼け果・小玉果・サビダニ被害果等の摘果により、収穫時には全てが成品となるよう、徹底的に摘果しましょう。

○早生温州についても収穫1カ月前には、仕上げ摘果を実施し、続いて樹上選果を行いましょう。

○普通温州は本格的な仕上げ摘果に入り、小玉果・軸太腰高で糖度の低い果実(裾なり・内なり)等を徹底して摘果しましょう。

2 枝つり・枝支えの徹底

大津四号・青島温州は裾成りの中玉果に光が当るよう、重なり枝を吊り上げ、紅の濃い成品に仕上げましょう。

3 浮皮防止対策(樹勢の良い樹)

着色開始期にフィガロン乳剤3,000倍液(収穫14日前まで)とカルピタP770倍液を混用散布しましょう。

※樹勢維持のため、フィガロン乳剤の年間使用回数(2回)

4 収穫前の防除対策

○アザミウマ類の防除

着色の早い品種・園地では、アザミウマ類による吸汁被害が出やすいため、防除を徹底しましょう。果実と果実・果実と枝葉の重なっている場所で被害が出やすく、リング状に白変し、その後褐変したりします。発生が多い場合は、コテツフロア

ブル(劇)6,000倍液(収穫前日まで2回以内)を散布しましょう。

○腐敗防止剤の散布

早生温州・いしじ・普通温州:

ベンレート水和剤4,000倍液(収穫前日まで4回以内)

ベルコートフロアブル1,000～2,000倍液(収穫前日まで2回以内)

品質向上対策として、カルピタP770倍液を混用散布しましょう。

※ベンレート水和剤とベルコートフロアブルは散布後丸1日間収穫ができません。

5 秋肥の施用

秋肥は来春の発芽に大きく影響します。

施用量が少なならないよう、確実に施用しましょう。

極早生……10月上旬～下旬

早生温州……10月下旬

普通温州……11月上旬

に基準量を施肥しましょう。

※詳しくは、柑橘栽培管理指針の秋肥の項をご参照ください。

びわ

園地の土壌管理(中耕・除草)と併せて、秋肥・花肥を今月中に施用しましょう。

秋肥……ひろしまフルーツ元氣866

(6袋/10a)

花肥……フロウ(2袋/10a)

いちじく

先月に引き続き、腐敗果実の混入防止を徹底し出荷を行います。

9月の苗販売情報

JA安芸津アグリセンターでは、直売所などJA出荷者の支援として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産・供給を行っています。数に限りがありますので、お早目にお問い合わせ頂ぎぜひご利用ください。

品目名	品種名	販売予定	収穫予定
キャベツ	彩音など	9月中旬～	12月下旬～
ハクサイ	お黄にり・黄ごごろ・無双など	9月中旬～	12月下旬～
ブロッコリー	ハイツ・エンデバーなど	9月中旬～	11月下旬～
カリフラワー	白・オレンジ・紫種	9月中旬～	11月下旬～

※在庫・価格等詳細については随時お問い合わせください。

※特注品についても相談の上、対応致します。



128穴セルトレイ

(商品例) ブロッコリー苗



果樹問 安芸津アグリセンター

TEL 0846-4510488

担当 JA広島果実連株

駐在技術員 鎌田 悠誠

農薬使用の注意点

・使用者自身の安全のため、農薬の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。
・周辺住民・周辺環境への安全を確保するため、周辺住民や農家に配慮し、農薬が飛散してかからないように注意しましょう。
・作物の残留農薬が問題となつていますが、農薬の製品ラベルに従い、決められた作物種、使用量、使用時期、使用回数などを確実に守れば基準値を超えることはありません。ただし、農薬ごとに作物名が似ているなど、間違いやすいものがありますので、慎重に注意し使用しましょう。

自然に恵まれ「人と人との豊かな生活」がそこにある

あなたとわたしの
ふれあい市



JAひろしま ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地 8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』
『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。



9月の
おすすめ

日中はまだまだ暑いですが、吹く風に秋の気配を感じられるよう
になりましたね。「秋」といえば…やっぱり食欲の秋ですよ！
ふれあい市には秋の野菜やくだものが並んでいます。
ぜひ、ふれあい市へお越しください。

日の浦のさといも
(9月中・下旬頃から)



いちじく



ハウスレモン



くり



シャインマスカット
ピオーネほか

出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？
興味のある方は下記の連絡先までお問い
合せください。

☎0846-46-1166

ふれあい市安芸津店 担当：松本まで



※写真はイメージです。

臨時休業のお知らせ

仮決算にかかる棚卸のため、購買事業を行う次の店舗を休業させていただきます。

9月30日(水) 安芸津アグリセンター・安浦店・川尻店
ふれあい市は通常通り営業いたします。

ご不便をおかけしますがご理解・ご協力をお願いいたします。